

目指す学校像	すべての子どもたちの居場所となる学校～教職員、保護者、地域が連携・協力して子どもたちを支える学校～
--------	---

重点目標	1 「学びの自律化」に向けたICT機器の有効活用による授業改善 2 「安全・安心な学校づくり」に向けた教育支援・相談体制の充実 3 「開かれた学校づくり」の推進 4 「学校の組織力」と「教職員の指導力」の向上
------	---

※重点目標は4つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目は複数設定可。  
 ※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

学 校 自 己 評 価		年 度 評 価			学校運営協議会による評価			
年 度 目 標		年 度 評 価			実施日令和 年 月 日			
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策	学校運営協議会からの意見・要望・評価等
1 学力向上	<現状> ○全国学力・学習状況調査では、学力及び質問紙調査ともに、全国・市平均と比べ下回る結果であり、無解答率が高い傾向である。 ○各種学習状況調査の結果から、基礎学力の定着に課題がみられる。 ○スタディ・サプリは5・6年生が加入しており、夏季休業中の課題などに活用している。 <課題> ○基礎的な知識・技能を定着させる必要がある。 ○スクールダッシュボード導入に伴い、エビデンスに基づいた効果的な支援を行う必要がある。	・「真の学力」の育成につながる主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善	①「学びの指標」を踏まえた学習者が主体的に学ぶ授業を実現する。 ②全国学力・学習状況調査を本校で分析及び学力向上カウンセリング研修等を生かした児童の実態に応じた指導の充実 ③学校課題研究の実践を通じた指導力の向上	①「学びの指標」における主体的な学びが全学級平均3.2以上となったか。 ②教職員アンケートにおける関連項目の肯定的意見の割合が90%以上となったか。				
		・エビデンスに基づく基礎学力の向上の実現に向けた指導法の工夫改善	①ICT機器等を活用し、児童一人ひとりの学習状況に応じた授業中の支援の充実 ②家庭学習の協力要請 ③指導と評価の一体化を重視したルーブリックの確立	①「学びの指標」におけるICTの活用が全学級平均3.2以上となったか。 ②通知票観点別評価の「B」以上の評価の割合が80%以上となったか。				
2 安心・安全	<現状> ○「いじめ見逃し0」を目指して、いじめの積極的認知を進めていく。令和5年度のいじめ認知件数は29件、年度を超えた見守りは5件である。 ○さいたま市学習状況調査において、「学校に行くのが楽しい」「困りごとや不安があるときに、だれかに相談しようと思いますか」の質問に肯定的な回答をした児童の割合が、学年によって市平均を下回っている。 <課題> ○施設、設備の老朽化や不具合等を原因とした怪我はないが、危険箇所等は散見されている。 ○問題発生時、学年主任のマネジメントによる組織的対応が必要な場面が多い。	・「自己肯定感」、「自己指導能力」の向上を目指した生徒指導・教育相談体制の充実	①児童向けアンケートや面談記録、生徒指導上の対応記録等を蓄積し、児童一人ひとりの状況を継続的に把握する。 ②生徒指導・教育相談部会でのICT活用を進める。 ③蓄積され情報を基に児童の状況について情報共有し、組織的内容を徹底する。	①②面談記録や会議録等が類別化され、活用しやすいデータベースとして蓄積することができたか。 ③データベースを活用した適宜性の高い組織的対応をすることができたか。				
		・安全な生活の実現に主体的に取り組む児童の育成に向けた取組の充実	①計画的な安全点検の実施と迅速な対応を徹底する。 ②全教職員、児童の視点に立った安全管理、指導を充実させる。	①学校評価の安全・安心に関する項目の肯定的な回答の割合が90%以上となったか。 ②毎月の安全点検の確実な実施と迅速な対応が十分にできたか。				
3 地域とともにある	<現状> ○学校運営協議会に地域代表者の参加が少ない。 ○保護者による学校運営への協力(PTA活動)の在り方について「本部役員を中心に大きな改革を図っている」。 ○朝の旗振り当番をすべての保護者を対象として位置付け協力をお願いしている。 <課題> ○学校運営協議会との取組に対して、教職員、地域の理解が十分ではない。 ○学校・地域・保護者が育てたい児童の姿を共有し、連携することが必要である。 ○学校運営協議会等へ児童を参加させていない。	・児童の自律に向けた取組に対する、学校運営協議会とSSNとの協働体制の強化	①地域自治会代表者を加えた学校運営協議会の委員編成 ②学校HPを活用した学校運営協議会やSSNに関する情報発信 ③児童の自律につながる熟議のテーマ設定と熟議内容の実践化	①学校HP内に新たに学校運営協議会等に関する項目を設定し、3回以上更新することができたか。 ②教職員及び保護者アンケートにおける、「開かれた教育課程」に関する項目の肯定的な回答割合が前年を上回ったか。				
		・意図的・計画的な情報発信と、効果的なフィードバック	①学校だよりや学校HP、学校安心メール、学校公開等の機会の有効活用 ②学校の取組に正対した学校評価項目の構成 ③学校運営協議会等への児童の参加	①保護者アンケートにおける学校の情報発信に関する項目の肯定的な回答割合が前年度を上回ったか。 ②学校運営協議会に児童を参画させることができたか。				
4 教職員の資質向上	<現状> ○ICT機器の活用に関して、学級間、学年間の格差が大きい。 ○個別最適な学びと協働的な学びの実践研究が十分ではない。 <課題> ○「教師が教える授業」から「学習者が主体的に学ぶ授業」への変革が必要である。 ○金融経済教育など外部指導者による専門性を生かした指導の充実を図る必要がある。	・ICT機器を活用した校内授業研究会の実施 ・高学年における教科専科性の充実 ・外部指導者による専門性の高い指導の充実	①学校課題研究の時間の確保と、一人1研究テーマに基づくICT機器を活用した授業研究の実践 ②研修の時間を核に、研究委嘱を活用したエビデンスに基づく効果的な指導法を研究し、「学びの指標」を踏まえた学習者が主体的に学ぶ授業を実現する。 ③一人ひとりの教員が年間を通して取り組む授業改善の目標を設定し、目標達成に向けた授業を2学期末までに1回以上公開する。 ③見通しをもった業務遂行の視点から、人事評価面談を通し、一人ひとりの業務改善を促す	①児童生徒の端末活用状況の向上及び「学びの指標」におけるICTの活用が3.2以上となったか。 ②教員の人事評価シートにおける「授業改善」に関する項目で、80%以上の教員が「b」を達成したか。 ③教員の人事評価シートにおける「研修」の項目で、80%以上の教員が「B」を達成したか。				